

われもこう

第107号

2019年3月31日発行

高槻ライフケア協会

題字 大橋康宏さん



ヘルマンハーブは涼子とともに

大槻 信子

我が家の自閉症の娘、涼子は45歳になり、就職して10年、元気で毎日仕事に行っています。

娘は、我が家の3番目(上は男児)の子として生まれ、待望の女の子で、とても嬉しかった事を覚えています。

2歳半位まではスクスク育ち、3歳近くになり、笑顔が消えて壁に向かって独り言ばかりを言い、奇声を発して多動でウロウロする様になりました。市場に行って財布を開く一瞬、手を離すと、パッと全速で走り出してしまうのです。迷子になることも多くあり、近所の方々に助けられました。母娘でクタクタの心穏やかでない日々でした。3歳児検診時に保健所で「大丈夫ですよ。」と言われましたが、元小学校教師の姑に「ちょっと心配だから、児童相談所に行ってみては。」の言葉に背を押されて行きました。そこで初めて「自閉症的傾向を持つ児」と言われ、大きなショックを受けました。自閉症が何かの知識も全然ないのに、「絶対に治してやる」とそう心に誓いました。

この時から、自閉症との戦いが始まりました。4歳で兄達と同じ幼稚園へ、5歳で「自閉症を治す」という東京の幼稚園へ、母子4人で引っ越しました。しかし、納得できずに一年で帰阪。できたばかりの地元小学校へ入学。「健常児のゆさぶりの中で、逞しい子に育てる」を希望して、先生方や保護者の方々ともたくさん話し合いをしました。熱心な先生方の様々な取組もお蔭で「いじめ」は皆無でした。6年生の時、私達7人の障害児の親で「やまびこ文庫」を作り、キャンプやハイキングもして8年間活動しました。中1の時「いじめ」にあいましたが、中2の時、根気強い先生との出会いで「障害児を公立高校へ」の運動とでいじめが改善され、娘の就職を考えて、私は生協活動を始めました。

16歳の時、生協に就職し7年間勤務しました。事業所移転で退職し、夜間の定時制高校へ通学しながら、昼間はいろいろな職業訓練や、職場実習の末、やっと今の職場に出会いました。

その頃、私はケアワーカーをしていたので、いろいろな人と接するために、介護施設のボランティアを親子でやっていました。

原のデイサービス施設に行った時に、利用者の高齢の男性が、ヘルマンハーブを演奏しているのに出会いました。

その音色の優しさに魅了されました。この楽器は、ドイツのヘルマン・フェーさんがダウン症の息子アンドレアス君に弾かせたいと考案されたものです。横 32 cm、縦 65 cm で 25 弦のミニハーブです。本体と弦との間に、楽譜を挟み、印の所を上から弾いていくと 1 曲できあがり。簡単なので、障害者や高齢者でも弾けます。私は常日頃、「本人を元気づける物を持たせたい」と思っていたので、「これだ！」と思い母子で習い始めました。10 年前のことです。その後、高槻ライフケア協会の理事長に「デイサービスで弾いてよ。」と言われて 6 年間ボランティア演奏に行っています。

音楽とは不思議なもので、若い頃や子供の頃に覚えた曲は、高齢者で現在、認知症の始まっている人でも、音が聞こえてくると、何処からともなく思い出して口ずさみます。特に、童謡などはなかなか浮かばないのに、ヘルマンハーブのメロディが聞こえてくると、スルスルっと連なつて思い出します。

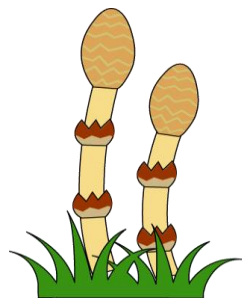
80 歳代の認知症の A さん(男性)は「荒城の月」が得意で、4 番まで大きい声で朗々と唄われます。これも歌詞カードがあればのことで、ない時は「そんなの知ら

ん。」と言われます。また 20 歳代の Y さん(女性)は、童謡も大人の歌もたくさん知っていて、ヘルマンハーブを弾くと鼻歌を唄われます。「一緒に弾こう」と Y さんの手を添えると、他人に触られることを嫌がられます。

施設では、昼食後の 1 時半頃から始めますが、昼寝をされている方もあり、ヘルマンハーブを聞いてくれる人だけでも、ちゃんと届けと弦に力を入れてゆっくり弾き、母子で唄っています。これからも季節に合わせて、童謡を中心に、高齢者の心の中の音楽の伴奏ができたらと思っています。

「自閉症は、根本的には解決できない」と言われていますが、親なきあと、楽しく生きていくにはどうすればいいかが問われます。今まで行ってきた延長線で、身辺自立の働きかけは当然ですが「自分のできないことが多々あっても、その都度、明るく前向きに周囲の人にはっきり訴えて助けてもらえる人に」なるよう援助することです。

ヘルマンハーブを背負い、自転車に乗って、元気にあちらこちらへ出かけている母娘です。



あすなろ地域交流センター

初めての映画会「いろどり」



1月18日(金)、地域交流センターあすなろ初の映画会を企画し、「高齢社会をいきいきと過ごす」をテーマに話題の映画を観た後「お菓子とお茶でお話しかフェ」を開催しました。

今回の映画は、“そうだ、葉っぱを売ろう！”おばあちゃんたちの力で町を元気にした奇跡の物語(実話)、「人生、いろどり」(出演:吉行和子、富司純子、中尾ミエ、藤達也)でした。徳島県の山あい位置する上勝町は人口が2,077人にまで減っている過疎の町でした。林業と米・ミカンを主要な産業としていましたが、高度経済成長の影響で木材は安い輸入材に押され、ミカンは生産過剰で値崩れ、住民の生活は次第に苦しくなっていました。さらに昭和56年の異常寒波でミカンは全滅しました。当時赴任したばかりの若い農協職員は過疎と高齢化の波に押される中、地域を活気づけるために、住民一人ひとりが働ける場所、主役となれる場所が必要だという思いを抱えて試行錯誤する日々。

ある日、料理に添えられた「青もみじ」を喜んで持って帰る若い女性客からヒントを得た彼は、「山にいくらでもある葉っぱ集めなら高齢者でもできる」。そのひらめきから、はっぱビジネス「いろどり」が始まりました。

映画の冒頭のシーンは、過疎の町から出ていく人の姿…。老人ホームに入れ、と言われる一人暮らしの老人のつぶやき…。



映画会後の楽しいお話タイム

参加された方は「また、こんな話か、と思ったけど、ストーリーが進むにつれ高齢者でも夢を持って頑張れると元気をもらった！」と感想を頂きました。

映画会の後、ランチボランティアの K さんお手製の「リンゴとレーズンのケーキ」と美味しいコーヒーをいただきながら、映画の感想や生きがいなどお話が弾みました。参加者の方から、「こんなにいい時間を作ってくださって本当にありがとう」と言って頂きました。スタッフ一同、何よりもうれしい感想です。今後も「地域交流センターあすなろ」から様々な「文化発信」を続けたいと思います。

事業所だより



通所介護

～利用者の方との関わり～

毎日、皆さんと顔を合わせていると、「今日はしんどいのかな？」など表情を見て感じるがあります。

それは、私たちスタッフだけでなく、利用者の方も同じようです。利用者が「今日は幸せそうな顔していいことあった

の？」と尋ね、時には「何かあったの？悩んでいるの？」と自分のことのように心配して下さいます。皆さんも私たちのことをよく見ているのだなど、うれしくなる瞬間です。これからも家族のような温かい雰囲気皆さんと過ごしていきたいと思ひます。



小規模多機能型居宅介護 あすなろ

年末恒例のクリスマス会は音楽コンサートを開催しました。大正琴・ピアノ・マンドリン・ギター・ソロ歌、生演奏の世界に引き込まれ、童謡・演歌・クラシック・唱歌と懐かしく聴き覚えのある曲に数々に皆さんはリズムをとりつつ、うっとりとした柔らかい表情、皆が楽器を持ち奏でた演奏中の沢山の笑顔、心が豊かになる時間をゆったり過ごすことができました。

そして年始は、恒例となった「書初め＋縁起飾りつけ」をしました。墨の香りに皆様の背筋もピンと伸び、凜とした雰囲気

気に包まれました。同じ字を繰り返し練習される方、色々な字にササッと挑戦される方、毛筆の感触を懐かしみながら筆を走らせておられました。その書初めを縁起飾りにアレンジし、世界で一点だけの特製セットが完成しました。縁起飾りはフロアにディスプレイ。「すごい！」「素敵！」「立派！」とお褒めの言葉を頂きました。

今年も、音楽の持つ無限の力を皆様と感じられる企画や、四季折々の楽しい活動ができるようにと考えています。

はじめまして



2018年4月から研修を経て、サービス提供責任者として勤務しています。約10年以上、障がい者の支援事業所で活動してきました。これまでの経験を活かして介護保険と障がい福祉両方のサービスを行っている事業所で仕事がしてみたいと思ひました。皆様の自立支援を支援しながら、私もいろいろなことにチャレンジしていきたいと思ひます。気軽に声をかけてください。よろしくお願ひいたします。

伊藤奈央子

くらし創造の家 朋（とも） 生活介護

2月はバレンタインデーのイベントをしました。男性利用者さんは女装(女性のカツラを着けて、少し口紅をする程度)し、女性利用者さんはスーツとネクタイを締めて男装をし、女性役の男性利用者から男性役の女性利用者にチョコレートの包みを渡して「愛の告白を試みよう！」という企画です。男性利用者Sさんはカツラを付けて口紅をすると、もう自分の姿にうっとりし、いつもは大人な雰囲気のIさんも自らポーズをとって、みんなの笑いを

誘っていました。あまり日本語が上手でないOさんも目をパチクリしながらも案外やってみると楽しかった様子で笑顔が溢れていました。一方、男装をした女性陣は「かっこいい！」と支援員や周りの利用者さん達から言われ、普段大人しいMさんもネクタイをするとバーテンダーの様でとてもかっこ良かったです。Yさんはスーツとネクタイが気に入り、「また、あんなにしたいわー。」とご機嫌な様子でした。

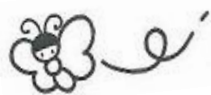
くらし創造の家 朋（とも）

小規模多機能型居宅介護



一日遅れの3月4日に、女性の利用者さんの多い小規模多機能型居宅介護では、「桃の節句」を楽しんでもらおうと「イチゴ大福」を一緒に作りました。あらかじめ茹でておいた餃子の皮に、餡子とさちのかイチゴをのせて利用者さんに包んでもらいました。Mさんは「上手に包めへんわ。餡子のはみ出

た」とはしゃいだ声で、Kさんは「餡子とこのイチゴがおいしいわ」と包まないで食べてしまいました。Yさんは、他の利用者さんの分も作って「ほらできた、これがあなたの分よ」と一生懸命でした。利用者さんそれぞれに桃の節句を楽しんだ一日でした。



Oさん(女性)は息子さんと2人で生活をされています。母親思いの素直な自慢の息子さんです。またOさんは福祉活動など先頭に立って障害のある息子さんの為に活動をしてきた逞しい方です。「私は本当に気が強いよ。だから乗り越えてきたのよ。」とよく言っています。Oさんは気になっている病気

訪問介護

の事や息子さんの事など、自分の想いを私達ケアワーカーに聞かせてくれます。時々、考え過ぎて疲れてしまわないかと気になります。趣味のピアノや歌、短歌など、これからも楽しみを持ちながら、今の生活が一日でも長く続いていくように援助しています。(T)



利用者さんにお聞きしました

「春から、がんばります」



【くらし創造の家 朋(とも)】

小規模多機能型居宅介護

- ・もう一度、自分でお寿司を握る！(T)
- ・舟木一夫のうたを練習したい(N)
- ・おいしいものをたくさん食べるぞ(K)
- ・歩く練習をがんばる！(K)

【くらし創造の家 朋(とも)】

生活介護

- ・国語をがんばって学びたい(H)
- ・カラオケをもっと楽しみたい(U)
- ・何事も一日一歩ずつ歩んでいきたい(I)

【小規模多機能型居宅介護 あすなろ】

- ・外でいろんな人と話したい 自治会等の役員とかもしたい(Y)
- ・足が弱ってきているので運動をがんばりたい！(S)
- ・外でブラブラしたい。おいしいものを食べに行きたい(U)

【通所介護】

- ・京都の懐石料理を食べに行きたいから、しっかり歩く！(K)
- ・健康でありたいので、体操をがんばるぞ(H)
- ・現状維持するために、横歩き3回の運動がんばります(T)
- ・大きな声でうたうことをがんばります(S)
- ・デイサービスに来て、和やかに、笑って過ごす(N)

小規模多機能型居宅介護あすなろに ドクターマット導入

長時間の台所仕事の足・膝・腰の負担を軽減するためにマットを導入しました。耐圧が分散されることで足裏にかかる負担が軽減され、冬場には「足元が暖かい」と職員に好評です。



生活介護に新しい送迎車

2019年1月29日、「くらし創造の家 朋(とも)」に待望の送迎車(トヨタ・ハイエースワゴン)がきました。この送迎車は『財団法人中央競馬馬主社会福祉財団・社団法人京都馬主協会』からの助成を受け、購入いたしました。安全運転で利用者の送迎を行います。本当にありがとうございました。



サービス提供実績報告 (2018年12月～2019年2月)

◇社会福祉法人

《訪問介護》

利用件数	2,198 件
利用時間	1604.96 時間
生活援助	692.55 時間
身体介護	912.41 時間

《介護予防訪問介護》

利用件数	818 件
利用時間	761.41 時間

《ケアワーカー派遣サービス》

利用件数	404 件
利用時間	368.5 時間
家事援助	272.0 時間
身辺ケア	56.5 時間
社会的援助	40.0 時間

◇特定非営利活動法人

《福祉移送サービス》

利用件数	66 件
利用時間	3,123 分
利用距離	972 km

《障害福祉・居宅介護》

利用件数	2,537 件
利用時間	2,524.25 時間
家事援助	1,251.25 時間
身体介護	1,124.25 時間
通院介助	148.75 時間

《重度訪問介護》

利用件数	136 件
利用時間	268.0 時間

《同行援護》

利用件数	363 件
利用時間	942.5 時間

《移動支援》

利用件数	597 件
利用時間	1,988.5 時間



ご協力に感謝します (敬称略・順不同) 2018年12月16日～2019年3月15日

<社会福祉法人>

◇寄附金 13,000円 累計 978,000円

小林フジ子、大堂浩行。

◇寄贈 金岩正義、小谷美也子。

<NPO法人>

◇後援会費 累計 207,000円

谷口文人、舘田 威、森田憲子。

◇寄附金 累計 32,000円



物品販売にご協力ください

□コーヒー (豆、挽)

焙煎工房タイムリーの特別焙煎豆

1kg : 1,700円 500g : 850円

□泉州わかめ

100%大阪湾泉州ワカメです。

塩わかめ 130g : 300円

茎わかめの佃煮 130g : 300円

茎わかめんたい 70g : 250円

□信州りんごジュース

長野県の岩下りりんご園

6本入り 5,100円

□島原手延べ素麺 眉山の糸

長崎県島原市の白山製麺製。

1kg～5kg : 1,200円～5,300円

*高槻市、茨木市、島本町、枚方市は

送料無料(その他の地域は実費)

□おとひめこんぶ

北海道榎法華村の黒口浜一帯で育成された真昆布一年物です。

1袋 : 500円



【編集後記】

『春』と聞くといつもワクワクします。新しい事を始める季節だからでしょうか。ドキドキと新鮮な感情が湧き出て、何かにチャレンジしたくなります。実際は気持ちばかりで何もできないのですが、

今回は「春から頑張ります」を参考に、自分の目標をたてたいな、と思案中です。無理のない出来る範囲の目標を。

(K)

社会福祉法人高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町5-7

TEL (072) 683-4945

特定非営利活動法人高槻ライフケア協会

〒569-0802 高槻市北園町4-19

TEL (072) 682-4119